学校番号	320

令和３年度　府立懐風館高等学校　外国語科（英語）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現	2	第３学年	・NEW FAVORITE English Expression I ・NEW FAVORITE English Expression I English Grammar ・表現のための基礎英語構文ノート８６

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語表現は、「書くこと」を中心に総合的な英語力をつける授業です。それぞれの重要文法事項を理解することはもちろん、それらを使って、実際に表現することに意識して学習しましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（３単位）及び「英語表現」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表することができる。 ・事実と意見などを区別して話すことができる	コミュ英Ⅲ ・インタビューテスト ・スピーチ 英語表現 ・インタビューテスト ・スピーチ	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。	コミュ英Ⅲ ・ライティングテスト ・定期考査 英語表現 ・ライティングテスト ・定期考査	・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。	コミュ英Ⅲ ・リスニングテスト ・定期考査 英語表現 ・リスニングテスト ・定期考査	・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。	コミュ英Ⅲ ・リーディングテスト ・定期考査 英語表現 ・定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	CAN-DO リストによる「聞くこと」「話すこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語の文法や語法を正しく理解でき、自分で運用できるかどうかを評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 Plastic Food Samples （６時間）	受け身 受け身を使った慣用表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・日本の伝統文化や行事を外国人に紹介することを考える。	・外国人に紹介したい日本の伝統文化や行事についてペアやグループで話し合う。	・日本の伝統文化や行事を外国人に紹介することを考えることができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・日本の伝統文化や行事を紹介する際の固有の用語や用法を表現する。	・日本の伝統文化や行事を紹介する際の固有の用語や用法を用いて、日本の伝統文化や行事を紹介する文を作る。	・日本の伝統文化や行事を紹介する際の固有の用語や用法を表現できる。	・日本の伝統文化や行事を紹介する際の固有の用語や用法を表現できているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・受け身と、受け身を用いた慣用表現を正確に理解する。	・補助教材を用いて受け身の文を理解する。	・受け身と、受け身を用いた慣用表現が正確に理解できる。	・定期テストにおいて、受け身の文と受け身を用いた慣用表現が理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・日本の伝統文化や、固有の行事について理解する。	・日本の伝統文化や、固有の行事についての文章を読む。	・日本の伝統文化や、固有の行事について理解できる。	・日本の伝統文化や、固有の行事について理解できているかどうかを判断する。
Lesson 10 What Is That Gesture? （６時間）	to 不定詞の名詞用法、形容詞用法、副詞用法	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・内容や表現を工夫しながらジェスチャーを説明する。	・さまざまなジェスチャーについて、それらの説明の仕方についてペアやグループで話し合う。	・内容や表現を工夫しながらジェスチャーを説明することができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・to 不定詞を正確に使って文を作る。 ・ジェスチャーについてわかりやすく説明する。	・to 不定詞を用いた文を作る。 ・ジェスチャーについて説明する。	・to 不定詞を正確に使って文を作ることができる。 ・ジェスチャーについてわかりやすく説明することができる。	・to 不定詞を正確に使って文を作ることができているかどうかを判断する。 ・ジェスチャーについてわかりやすく説明することができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・to 不定詞の用法を理解する。	・補助教材を用いて to 不定詞の文を理解する。	・to 不定詞の用法を理解することができる。	・定期テストにおいて、to 不定詞の用法を理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・それぞれの文化圏で、ジェスチャーには特有の意味と表現があることを理解する。	・それぞれのジェスチャーの特有の意味と表現についての文章を読む。	・それぞれの文化圏で、ジェスチャーには特有の意味と表現があることを理解できる。	・それぞれの文化圏で、ジェスチャーには特有の意味と表現があることを理解できているかどうかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 11 Laughter Brings Happiness （６時間）	動名詞 動名詞を使った慣用表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英語の４コマ漫画を楽しむ。 ・ペアで決意を発表しあう。	・英語の４コマ漫画を読む。 ・ペアで決意を発表しあう。	・英語の４コマ漫画を楽しむことができる。 ・ペアで決意を発表しあうことができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・聞き手にわかりやすいように好きな４コマ漫画を紹介する。 ・動名詞を使った慣用表現を使う。	・自分の好きな４コマ漫画を紹介する。 ・動名詞を使った慣用表現を用いて文を作る。	・聞き手にわかりやすいように好きな４コマ漫画を紹介することができる。 ・動名詞を使った慣用表現を使うことができる。	・聞き手にわかりやすいように好きな４コマ漫画を紹介することができているかどうかを判断する。 ・動名詞を使った慣用表現を使うことができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・動名詞を使った文を正しく理解する。 ・４コマ漫画を読み、オチを読み取る。	・補助教材を用いて動名詞の文を理解する。 ・英語の４コマ漫画を読んで、オチを読み取る。	・動名詞を使った文を正しく理解することができる。 ・４コマ漫画を読み、オチを読み取ることができる。	・定期テストにおいて動名詞の文を理解できているかどうかを判断する。 ・４コマ漫画を読み、オチを読み取ることができているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・PEANUTS など、英語圏で愛されている４コマ漫画を知る。	・英語圏で愛されている４コマ漫画を読む。	・PEANUTS など、英語圏で愛されている４コマ漫画を知っている。	・ PEANUTS など、英語圏で愛されている４コマ漫画を知っているかどうかを判断する。
Lesson 12 A Movie Review （６時間）	現在分詞 過去分詞 分詞の後置修飾	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・好きな映画や小説を紹介する。	・好きな映画や小説をペアやグループで紹介し合う。	・好きな映画や小説を紹介することができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・現在分詞と過去分詞を使い分け、正しく名詞を修飾する。	・現在分詞と過去分詞を使い分け、正しく名詞を修飾した文を作る。	・現在分詞と過去分詞を使い分け、正しく名詞を修飾することができる。	・現在分詞と過去分詞を使い分け、正しく名詞を修飾することができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・現在分詞と過去分詞を使った文を正しく理解する。	・補助教材を用いて現在分詞と過去分詞を理解する。	・現在分詞と過去分詞を使った文を正しく理解することができる。	・定期テストにおいて、現在分詞と過去分詞を理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・エンターテイメントについて、各文化圏における特有の表現や特徴を理解する。	・エンターテイメントについて、各文化圏における特有の表現や特徴についての文章を読む。	・エンターテイメントについて、各文化圏における特有の表現や特徴を理解できる。	・定期テストにおいて、エンターテイメントについて各文化圏における特有の表現や特徴を理解できているかどうかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 13 My brother Eats... Homework. （６時間）	知覚/使役動詞＋現在分詞/過去分詞/動詞の原形 分詞構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・学校新聞の記事というジャンルの文章の特徴を考える。	・学校新聞の記事というジャンルの文章の特徴について考え、ペアやグループで話し合う。	・学校新聞の記事というジャンルの文章の特徴を考えることができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・学校新聞の記事を工夫して作る。 ・分詞構文の文を正確に作る。	・学校新聞の記事を作る。 ・分詞構文を用いた文を作る。	・学校新聞の記事を工夫して作ることができる。 ・分詞構文の文を正確に作ることができる。	・学校新聞の記事を工夫して作ることができているかどうかを判断する。 ・分詞構文の文を正確に作ることができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・分詞構文の文を理解する。 ・分詞を使って名詞を修飾する際、名詞の前に置く場合と後ろに置く場合の違いを理解する。	・補助教材を用いて分詞構文の文を理解する。	・分詞構文の文を理解できる。 ・分詞を使って名詞を修飾する際、名詞の前に置く場合と後ろに置く場合の違いを理解できる。	・定期テストにおいて分詞構文の文を理解できているかどうかを判断する。 ・定期テストにおいて、分詞を使って名詞を修飾する際、名詞の前に置く場合と後ろに置く場合の違いを理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・新聞記事に特有の表現を理解する。	・新聞記事を読む。	・新聞記事に特有の表現を理解できる。	・新聞記事に特有の表現を理解できているかどうかを判断する。
Lesson 16 Our School's Global Footprint （６時間）	what 関係代名詞・関係副詞の非制限用法 前置詞＋関係代名詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・環境問題と、それに関する対応や配慮について調べる。	・環境問題と、それに関する対応や配慮について調べ、ペアやグループで話し合う。	・環境問題と、それに関する対応や配慮について調べることができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・関係詞 what、関係代名詞・関係副詞の非制限用法、前置詞＋関係代名詞などを使って正確に文を作る。	・関係詞 what、関係代名詞・関係副詞の非制限用法、前置詞＋関係代名詞などを使って文を作る。	・関係詞 what、関係代名詞・関係副詞の非制限用法、前置詞＋関係代名詞などを使って正確に文を作ることができる。	・関係詞 what、関係代名詞・関係副詞の非制限用法、前置詞＋関係代名詞などを使って正確に文を作ることができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・関係詞の制限用法と非制限用法の違いを理解する。	・補助教材を用いて関係詞の制限用法と非制限用法の違いを理解する。	・関係詞の制限用法と非制限用法の違いを理解できる。	・定期テストにおいて、関係詞の制限用法と非制限用法の違いを理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・各文化圏における環境問題のあり方の特徴を理解する。	・各文化圏における環境問題のあり方についての文章を読む。	・各文化圏における環境問題のあり方の特徴を理解できる。	・各文化圏における環境問題のあり方の特徴を理解できているかどうかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 17 Tokyo Skytree （６時間）	同等比較 比較級 最上級	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・各地の名所について紹介する文を工夫して作る。	・各地の名所について紹介する文を作り、ペアやグループで発表し合う。	・各地の名所について紹介する文を工夫して作ることができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・比較表現を使って文を作る。 ・各地の各所について他のものと比較しながら紹介する文を作る。	・比較表現を用いた文を作る。 ・各地の各所について他のものと比較しながら紹介する文を作る。	・比較表現を使って文を作ることができる。 ・各地の各所について他のものと比較しながら紹介する文を作ることができる。	・比較表現を使って文を作ることができているかどうかを判断する ・各地の各所について他のものと比較しながら紹介する文を作ることができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・各種資料から、対象とする名所に特徴的な項目について理解する。	・各種資料から、対象とする名所に特徴的な項目を読み取る。	・各種資料から、対象とする名所に特徴的な項目について理解できる。	・定期テストにおいて、各種資料から、対象とする名所に特徴的な項目について理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・世界の名所について、その歴史的背景も含めて理解する。	・世界の名所とその歴史的背景についての文章を読む。	・世界の名所について、その歴史的背景も含めて理解できる。	・世界の名所について、その歴史的背景も含めて理解できているかどうかを判断する。
Lesson 18 New Zealand （６時間）	倍数表現 比較表現の言いかえ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・グループで協力しながら自分たちの都道府県を紹介する。	・グループで協力しながら自分たちの都道府県を紹介する。	・グループで協力しながら自分たちの都道府県を紹介することができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・倍数表現を使って文を作る。 ・「最も～だ」と言うときの比較表現を使って文の言い換えをする。	・倍数表現を使って文を作る。 ・「最も～だ」と言うときの比較表現を使って文の言い換えをする。	・倍数表現を使って文を作ることができる。 ・「最も～だ」と言うときの比較表現を使って文の言い換えをすることができる。	・倍数表現を使って文を作ることができているかどうかを判断する。 ・「最も～だ」と言うときの比較表現を使って文の言い換えをすることができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・倍数表現を用いた文を読み、意味を正確に理解する。	・倍数表現を用いた文を理解する。	・倍数表現を用いた文を読み、意味を正確に理解できる。	・定期テストにおいて、倍数表現を用いた文を読み、意味を正確に理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・自分の都道府県の PR ポイントについて、その文化的背景も含めて理解する。	・自分の都道府県の PR ポイントやその文化的背景についての文章を読む。	・自分の都道府県の PR ポイントについて、その文化的背景も含めて理解できる。	・自分の都道府県の PR ポイントについて、その文化的背景も含めて理解できているかどうかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 19 If I Were Principal…. （６時間）	仮定法過去 仮定法過去完了など	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・自分が理想とする学校についてスピーチをする。	・自分が理想とする学校についてスピーチを発表する。	・自分が理想とする学校についてスピーチをすることができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・仮定法の文を正確に作る。	・仮定法を用いた文を作る。	・仮定法の文を正確に作ることができる。	・仮定法の文を正確に作ることができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・仮定法過去と仮定法過去完了の違いを正確に理解する。	・補助教材を用いて仮定法過去と仮定法過去完了の違いを理解する。	・仮定法過去と仮定法過去完了の違いを正確に理解できる。	・定期テストにおいて、仮定法過去と仮定法過去完了の違いを理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・生徒会の選挙に立候補し、生徒会長になるとしたら、どのような手続きが必要となるかについて知る。	・生徒会の選挙に立候補し、生徒会長になるとしたら、どのような手続きが必要となるかについて考える。	・生徒会の選挙に立候補し、生徒会長になるとしたら、どのような手続きが必要となるかについて知っている。	・生徒会の選挙に立候補し、生徒会長になるとしたら、どのような手続きが必要となるかについて知っているかどうかを判断する。
Lesson 20 Thank you, Everyone! （６時間）	as if… I wish…	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・感謝の気持ちを伝えるスピーチをする。	・感謝の気持ちを伝えるスピーチを発表する。	・感謝の気持ちを伝えるスピーチをすることができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・「まるで～のように」、「～ならいい［よかった］のに」と言うときの表現を正確に使う。	・「まるで～のように」、「～ならいい［よかった］のに」と言うときの表現を使って文を作る。	・「まるで～のように」、「～ならいい［よかった］のに」と言うときの表現を正確に使うことができる。	・「まるで～のように」、「～ならいい［よかった］のに」と言うときの表現を正確に使うことができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・as if～とI wish～の表現の使い方と、それらを使うべき場面について理解する。	・補助教材を用いて as if～とI wish～の表現の使い方と、それらを使うべき場面について理解する。	・as if～とI wish～の表現の使い方と、それらを使うべき場面について理解できる。	・定期テストにおいて、as if～とI wish～の表現の使い方と、それらを使うべき場面について理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・お世話になった先生や友人に感謝するときに特有の表現を理解する。	・お世話になった先生や友人に感謝するときに特有の表現について学ぶ。	・お世話になった先生や友人に感謝するときに特有の表現を理解できる。	・お世話になった先生や友人に感謝するときに特有の表現を理解できているかどうかを判断する。